

第4回

高校で行うプログラムを考えよう

(1) プログラム

日 時 | 9月18日(月祝) 10:00～12:30

会 場 | 深川高校1階 大会議室

内 容 | 高校で行うプログラムを考えよう

・前回のアイデアを基に、深川高校1年生の授業で実施するプログラムを検討しました。

タイムテーブル |

10:00 (05分) あいさつ

10:05 (10分) 本日の進め方、全体スケジュールの確認

10:15 (20分) **【交流しよう！】**

ふれあい工房ゆめま～るで働く日々で感じていること】

ゆめグループ福祉会 鈴木初江さん

10:35 (10分) **【情報提供 | 深川高校のボランティア・アワードへの挑戦！】**

10:45 (10分) ～休 憩～

10:55 (35分) **前回の振り返りと全体構成**

・前回の振り返り、プログラムの全体構成について意見交換

11:30 (60分) **【グループワーク | 寸劇などの構成を決めて、**

シナリオづくりにとりかかろう

12:30 終了

(2) 交流しよう！ふれあい工房ゆめま～るで働く日々で感じていること

ゆめグループ福祉会 鈴木初江さん

こんにちは。ふれあい工房の鈴木初江です。

私はゆめグループに入る前は、家でおばあちゃんの面倒を見ながら生活していました。デイサービスへ見送りと出迎え、食事の準備などです。

ゆめグループに入ったのが平成 20 年くらい。接客の仕事がしたいと思って、店舗型作業所のふれあい工房ゆめま～るに移りました。毎日大量のランチの調理、下ごしらえや買い物をしています。毎日忙しいけれど、月一回予定を組んでいろんなところに遊びに行っています。生活ではグループホームに入ってます。グループホームではいろんな人がいます。職員さんがやさしくしてくれます。洗濯、掃除、食器の洗い物を毎日やっています。あと将来の夢は勉強してヘルパーの資格を取ってお年寄りの面倒を見たいので、介護施設で働きたいです。

(3) 情報提供 | 深川高校のボランティア・アワードへの挑戦！

高校生ボランティア・アワードは、全国の高校生が日頃から続けている活動を発表する大会です。7月の初旬にオンラインでの予選があり、8月の8月9日（水）／10日（木）の全国大会に出場しました。今回は、「高校生によるUDプログラム実践」でUDを区民に広めるプログラムの構築という活動を発表してきた様子を動画で見せていただきました。

(4) 前回の振り返りと全体構成

前回の話し合いのポイント

【1 グループ】

■寸劇構成の工夫

- ・寸劇はわかりやすい。
- ・「良い例」「悪い例」の対比、「対応される側の心の言葉」「対応する側の心の言葉（声をかける側の逡巡した気持ち）」もあると良い。
- ・寸劇には解説が必要（これで正解なのでなく、いろいろなやり方があるなど）。

■寸劇テーマのアイデア

- ・「思いやり」なはずダメなのか？
- ・聞かないとわからない！「私がやらなきゃ」とできることまでやってしまったこと。
- ・障害者に絞らず、ベビーカー、高齢者、子どもなども出てくると良い。
- ・高校生がバイト先で出会う出来事。

【2 グループ】

■寸劇構成の工夫

- ・寸劇は、自分が同じ場所にいたらという状況を想像しやすい。
- ・寸劇をみるだけでなく、実際にやってもらうこ

とはできないか（多数派と少数派の立場を変えることに参加するなど）

■寸劇テーマのアイデア

- ・手伝うことに決まりはなく、聞いた方がいい。
- ・気遣いすぎたり、できることまでやってあげるのはよくない。それは相手へのリスペクトが足りないことだ。
- ・人に頼まれたり、頼む時、断られても重く考えない。

●「はい、次」

自分がダメでも次の人が対応してくれる、自分が断られても次をお願いすればいい。

シチュエーション | バスや電車、高校生が身近に感じる場所

内容 | お願ひする側とされる側の両方の立場になって考える

断られた時の対応 | 落ち込まない、対応してくれたことに感謝

【3 グループ】

■寸劇構成の工夫

- ・寸劇は、「問いかけ」しながら進められると良い。「どうしたらいいか」と考える時間、「こうする

べきでは」と意見を聞く時間を設け、その後ポイント解説できると良いか。

- ・寸劇には、小道具（買い物カゴ、品物）などがあると、よりわかりやすい。

■寸劇テーマのアイデア

- 高校生が行く場所でいろいろな人に会い、異なる手段でコミュニケーションをとる。

- 1) 高校生が耳の聞こえない高校生に会い、UDトークでコミュニケーションをとる
- 2) 高校生が耳の遠い高齢者に会い、UDトークではコミュニケーションを取れず、筆談する
- 3) (日本語しか話せない) 高校生が日本語の話せない外国人に会い、身振り手振りでコミュニケーションをとる
- 4) (手話を勉強した) 高校生が聞こえない人に会い、手話でコミュニケーションをとる→授業で(スターバックスの手話など)手話を高校生に教える

- マークが持つ意味

- ・サポートする側から見ると識別されていてわかりやすい方がいいが、それを身につける側にとっては、区別もされたくないのに結果レッテルを貼られることになる。
- ・違っていい、その違いを識別させずに理解し合うのがいい。その人と対話することが重要。

【4 グループ】

■寸劇構成の工夫

- ・寸劇は、良かれと思っていることがそうではないギャップがよかった。

■寸劇テーマのアイデア

- 誰でもどんな人でも楽しめるユニバーサルカフェ
- ・文化祭での模擬店を想定、高校生が理解しやすいシチュエーション。
- ・コミュニケーションで起きる問題を表現する(様々な立場の人に対してどう対応するか、客として訪れた当事者の気持ちを尊重)。

[視覚障害者] メニューの内容説明／イスの勧め方／皿の上をクロックポジションで／補助犬とその説明

[聴覚障害者] 指差しでコミュニケーション

[車いす使用者] 入れない／段差があってもクリアできる時もある(ハードとソフトの両面)

[外国人] 高校の関係者に外国人がいるので、聞いてみる。

[高齢者] 段差の話／(江東区の昔のまち並みや建物の話?)

[病気やアレルギーのある方] 食材の確認

[宗教] 宗教によって食べられない食材

[子連れの方] 子どもの椅子の高さ／子どもが泣いても気疲れしない環境

[ペットや動物連れの方] テラス席の活用

【5 グループ】

■寸劇構成の工夫

- ・声かけの選択肢で悩んでいたが、いろいろなパターンがあることがわかった。

■寸劇テーマのアイデア

- ・知らないことを知る内容。
- ・歩きスマホで車いすや白杖使用者に当たってしまう人がいる。そこから物語を始める。

- ドリンクバーやファミレスのできごと

- ・視覚障害者は自分で好きな飲み物を選ぶことができない。点字メニューがあるところもある。

- 電車のできごと

- ・エレベーターに人がたくさんいると、車いす使用者は入りづらい。
- ・エスカレーターにガイドと横ならびでいると「どいてください」と言われることがある。

共通のポイント

■寸劇の構成の工夫 1

- 1 「良い例」「悪い例」の対比、「対応される側の心の言葉」「対応する側の心の言葉(声をかける側の逡巡した気持ち、良かれと思っていたのにギャップがある)もあると良い。

- 2 寸劇は、「問いかけ」しながら進められると良い。「どうしたらいいか」と考える時間、「こうするべきでは」と意見を聞く時間を設ける。

- 3 寸劇には解説が必要(これで正解なのでなく、いろいろなやり方があるなど)。

※小道具をうまく活用。

■体験も盛り込めるか検討

- ・寸劇をみるだけでなく、実際にやってもらうことはできないか(多数派と少数派の立場を変えることに参加するなど)